

# ビジネス・デザイン論

担当者 西井 進剛

開講時期 後期 単 位 2

## ●講義の概要

本講義の目的は、「ビジネス・デザイン」、すなわち環境変化に適応したビジネスをどのように設計しイノベーションを生み出していくのかについて理解を深めることにある。本講義では、最新の研究成果（テキスト）を元に、ビジネスモデルの構築、ビジネスモデル・イノベーションという視点からビジネス・デザインの理論的、実践的な学習を行う。

## ●講義の到達目標

「ビジネス・デザイン」「ビジネスモデル」「ビジネスモデル・イノベーション」の概念について理解し、付帯する専門知識を習得する。加えて、受講生自らが主体的に新しいビジネス・デザインを創造できるだけの技法を身に着けることを目指す。

## ●講義計画

- 第1回 ビジネスモデルの概念、分析フレームワーク
- 第2回 事例研究：パートワークマガジン
- 第3回 事例研究：消耗品ビジネス
- 第4回 事例研究：シネマコンプレックス
- 第5回 ビジネスモデルのローカライゼーション
- 第6回 企業間でのビジネスモデルの進化と相互作用
- 第7回 プラットフォーム・エンベロップメント戦略の実行プロセス
- 第8回 マルチサイド・プラットフォームにおけるニューレイヤー参入・競争戦略
- 第9回 創発的ビジネスモデルのイノベーション①：巣鴨信用金庫
- 第10回 創発的ビジネスモデルのイノベーション②：マルコメの業務用味噌汁サーバー
- 第11回 創発的ビジネスモデルのイノベーション③：アスクル
- 第12回 創発的ビジネスモデルのイノベーション④：ベンチャー企業12社の事例
- 第13回 組織間共創を通じた創発的ビジネスモデルのイノベーション
- 第14回 創発的ビジネスモデルのマクロ・イノベーション
- 第15回 ビジネスモデル・イノベーション事例の比較分析、講義全体の振り返り

## ●成績評価基準と方法

- ・授業内でのプレゼンテーションの評価（40%）
- ・ダイアログ、ディスカッションへの参加度（30%）
- ・期末レポート（30%）

## ●テキスト又は参考文献

伊藤嘉浩（2021）『ビジネスモデル創造企業』中央経済社。

## ●受講上の留意点

毎回の授業にて、テキストの内容や事例研究に関するプレゼンテーションを課す（評価割合40%）。そのため、テキストはもちろんのこと、関連資料等を事前に読み込んでから授業に参加することが求められる。加えて、授業内でのダイアログやディスカッションへの積極的な参加が必須となる（評価割合30%）。期末レポートでは、授業内で取り扱った事例以外のビジネスモデル分析について取り組んでもらう（評価割合30%）。